

〔様式G1〕 令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者												
所属名	諏訪湖流域下水道事務所											
責任者(所属長)	所長 山崎 直人											
担当者	管理課 日出嶋 孝紀											
連絡先	0266-58-2955											
2 目標及び達成状況												
電気使用量の削減	率先実行計画の目標	電気使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比65%以上削減する。										
	今年度の目標	令和 5	年度比 1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	17,773,753	kWh					
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> 下水の処理に電気の使用(揚水ポンプ、ばつ氣等)が必須であるため、H22(20,800 kWh)比65%削減(7,280 kWh)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。(努力目標とは、重油換算エネルギー原単位の年平均1%以上低減(H18年経済産業省告示65号)) 算定式:R5実績(処理場+場外施設)-R5処理場実績×0.01=17,949,378kWh-17,562,510kWh×0.01=17,773,753kWh(場外施設は削減の余地がなく、削減対象から除外) 										
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等										
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					9,130,446	kWh				
	今年度の実績	令和 5	年度比 -0.7	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	18,068,970	kWh					
	達成状況の評価	達成状況の評価	B			目標に対する達成状況	98	%				
燃料使用量①の削減	率先実行計画の目標	庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。										
	燃料の項目	A重油										
	今年度の目標	令和 5	年度比 1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	261,021	L					
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉の稼働にはA重油の使用が必須であるため、H22(369,135L)比70%削減(110,740.5L)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。 算定式:R5実績×0.99=263,658m³×0.99=261,021m³ 										
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等										
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					121,419	L				
	今年度の実績	令和 5	年度比 -7.6	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	283,595	L					
燃料使用量②の削減	達成状況の評価	達成状況の評価	B			目標に対する達成状況	92	%				
	率先実行計画の目標	庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。										
	燃料の項目	LPガス										
	今年度の目標	令和 5	年度比 1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	269	m ³					
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> 下水の処理にLPガスの使用(加温ボイラーの着火用等)が必須であるため、H22(648 m³)比70%削減(194 m³)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。 算定式:R5実績×0.99=272 m³×0.99=269 m³ 										
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等										
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					136	m ³				
	今年度の実績	令和 5	年度比 6.7	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	254	m ³					
	達成状況の評価	達成状況の評価	A			目標に対する達成状況	106	%				

〔様式G1〕 令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者								
所属名	諏訪湖流域下水道事務所							
責任者(所属長)	所長 山崎 直人							
担当者	管理課 日出嶋 孝紀							
連絡先	0266-58-2955							
2 目標及び達成状況								
公用車の省エネ（ガソリン）	率先実行計画の目標	公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。						
	今年度の目標	令和 5	年度比 2	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	754.7	L	
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<p>・流域下水道の維持管理業務の組織改正により、H24に下水道公社委託から県直営化となった。 H22段階では組織が異なり対象車数も異なるため、現在の組織となったH24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(937L)比40%削減(562L)」の達成に向け、前年度比2%の削減を目標とする。 ・算定式:R5実績×0.98=770.1L×0.98=754.7L</p>						
	目標達成のための手段	・エコドライブの推進、相乗り出張、近距離の公用自転車の利用、公共交通機関の積極利用 等						
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					232.8	L
	今年度の実績	令和 5	年度比 32.6	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	518.7	L	
	達成状況の評価	達成状況の評価	A			目標に対する達成状況	146	%
公用車の省エネ（軽油）	率先実行計画の目標	公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。						
	今年度の目標	令和	年度比	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		L	
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	(対象設備なし)						
	目標達成のための手段							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						L
	今年度の実績	令和	年度比	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		L	
	達成状況の評価	達成状況の評価				目標に対する達成状況		%
水道使用量の削減	中長期の目標	上水道の使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減する。						
	今年度の目標	令和 5	年度比 0.25	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	4,285	m ³	
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<p>・前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(6,643m³)比10%削減(5,979m³)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比0.25%の削減を目標とする。 ・算定式:R5実績×0.9975=4,296m³×0.9975=4,285m³</p>						
	目標達成のための手段	節水コマや節水器等の導入、管理本館屋上冷却塔や管理本館冷温水発生装置の運用見直し 他						
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					1,942	m ³
	今年度の実績	令和 5	年度比 3.1	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	4,161	m ³	
	達成状況の評価	達成状況の評価	A			目標に対する達成状況	103	%

〔様式G1〕 令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者								
所属名	諏訪湖流域下水道事務所							
責任者(所属長)	所長 山崎 直人							
担当者	管理課 日出嶋 孝紀							
連絡先	0266-58-2955							
2 目標及び達成状況								
用紙類の削減	率先実行計画の目標	コピー用紙等の使用枚数を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減とする。						
	今年度の目標	令和	5	年度比	0.5	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	102.5 千枚
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(224千枚)比10%削減(201.6千枚)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比0.5%の削減を目標とする。 ・算定式:R5実績×0.995=103千枚×0.995=102.5千枚						
	目標達成のための手段							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)					54.5 千枚	
	今年度の実績	令和	5	年度比	-5.8	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	109.0 千枚
	達成状況の評価	達成状況の評価	B			目標に対する達成状況	94	%
廃棄物の減量・リサイクル	率先実行計画の目標	可燃ごみの排出量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比20%以上削減する。						
	今年度の目標	令和	5	年度比	1	%削減	削減後の排出量 (削減分ではありません)	2,566 kg
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(7,410kg)比20%削減(5,928kg)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比1%の削減を目標とする。 ・算定式:R5実績×0.99=2,592kg×0.99=2,566kg						
	目標達成のための手段	可燃ゴミからのリサイクル可能な資源ゴミの分別徹底 等						
	上半期の実績	実績排出量 (削減分ではありません)					756 kg	
	今年度の実績	令和	5	年度比	34.4	%削減	実績排出量 (削減分ではありません)	1,701 kg
	達成状況の評価	達成状況の評価	A			目標に対する達成状況	151	%